

学校教育目標

自ら学び考え
主体的に行動する
心豊かな生徒

目指す生徒像

胸をはり
瞳輝く東中生

学校だより 瞳ひとみ輝かがや く

第13号 令和5年3月15日 川越市立東中学校長 福田和子

「教育が一人前の社会人をつくる」家庭や地域の願いに応える 「守・破・離」の東中三カ年教育

第62回 卒業生の皆さんへ



東中学校校歌の3番は、
志や目標をもち、自己実現
に向け今日を迎えた卒業生
の皆さんに送る言葉そのもの

のなっています。

東中学校の教育計画のもと「守・破・離」の3ヶ年の教育課程を修了し、新たな人生のステージに立つところとなりました。

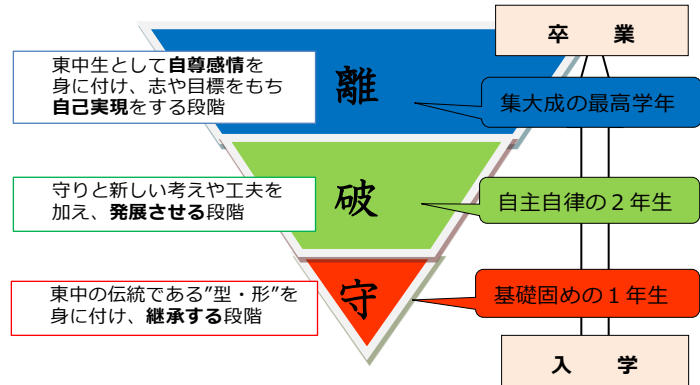
入学試験、学年末テストを終え、3月になってからは社会に出るために必要なことを学ぶ大切な時間を過ごしました。生き方を考える、国際貢献を考える、現在の社会の問題を考える、そういった貴重な授業を受け、皆さん一人一人が様々な問題と向き合い、よりよい方向に向け、考えを深め、仲間と共有することができました。

卒業生の皆さんの中学校生活は、臨時休業、入学式は分散、かつてない状況となり、それぞれが力を発揮する機会がなくなっていました。そのような中でも中学生へと成長していくための様々な機会や経験を積み、一日一日を大切にしながら仲間と協力し、工夫して学校生活を送ることができました。このことは、これから皆さんが歩む人生にも大きな力となってつながっていくはずです。

今、世界では様々な課題を包括的に議論し、具体的な行動に移すことの重要性が挙げられています。命の重み、平和とは、人権についてなど、私たちには、いま世界中で起きていることの現実を知ることの責任があるのではないのでしょうか。変化の激しい時代の中で中心的な役割を担っていく皆さんが、未来に向けて人と関わり、広い視野をもち、この先にはどのようなことが必要かを考えた行動ができるよう願っています。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大から三年余りとなり、少しずつ以前の生活に近づく様子が見えてきました。しかし、このコロナ禍の経験は、私たち人間が生活自体を改めて考えるきっかけになったはずです。そして、私たち一人一人がこれからの社会について、人とのつながりの大切さを改めて考える機会となりました。

「自ら学び考え 主体的に行動する 心豊かな生徒」を目標に過ごした3年間で、積み重ねた力が、未来に向けた発信力となるよう期待しています。



- 川越市立東中学校校歌
- 秩父の山並 そびえ立ち
富士の峯 また揺るぎなし
見よその姿 仰ぎつつ
あすの時代を飛びかける
若きかりがね ここに育つ
東中川越東中学校
- 一
- 荒川流れて 果てしなく
人間の水 また休みなし
ああその行く手 望みつつ
真理求めて ひたすらに
日々を悔いなく 学び励む
東中川越東中学校
- 二
- ひらめく えんじの旗の下
若き夢 また限りなし
さあそのひとみ 輝やかし
進め 緑の風の中
未来めざして 力強く
東中川越東中学校
- 三